

## 1．事業の概要

エネルギー効率が高く、CO<sub>2</sub>の排出が少ない次世代自動車等の導入を積極的に推進していくことは、運輸部門における環境対策、特にCO<sub>2</sub>排出抑制に大きな効果が得られるものである。

平成22年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画では、オフロード車にあっては、2030年において全建設機械の販売に占めるハイブリッド車等の割合を4割とすること、乗用車にあっては、新車販売に占める次世代自動車の割合を、2020年までに最大で50%、2030年までに最大で70%とすることを目指すこととしている。

また、同じく6月に閣議決定された新成長戦略においても、「グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略」の重要な項目として、次世代自動車の普及促進等が位置づけられている。

これらのことから、次世代自動車等の導入促進を図ることが必要不可欠である。とりわけ低炭素化・低公害化が遅れているオフロード車については1台当たりのCO<sub>2</sub>排出量が多いことから、燃料消費量25%～50%削減が見込めるハイブリッドオフロード車の普及を図ることにより、低炭素化と低公害化を加速する必要がある。

## 2．事業計画

本格的な普及に至っていない先進的な次世代車を対象に、以下の導入費用の補助を行う。

### 民間団体が行う

ハイブリッドオフロード車（油圧ショベル、フォークリフト等の公道を走行しない特殊自動車のうち、内燃機関・電動機・蓄電装置の組み合わせにより、エネルギー回生機能を備えたもの）の導入時における通常車両との価格差の1/2補助

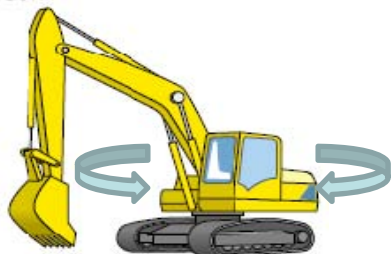
## 3．施策の効果

市場投入初期段階にあるハイブリッドオフロード車の導入を支援し、特殊自動車類のCO<sub>2</sub>削減対策として定着化を図ることにより、オフロード車からのCO<sub>2</sub>及び大気汚染物質の削減を図る。

# 先進的次世代車普及促進事業

## ハイブリッドオフロード車を導入する事業 (通常車両との価格差の1/2を補助)

～ オフロード車は建設業、農業、産業用等、様々な業種で幅広く利用～



### ハイブリッド油圧ショベル

車体上部の旋回運動の減速時に  
エネルギー回生

燃費改善は約25%

約10トン-CO2/台・年



### ディーゼルハイブリッド フォークリフト 等

車体前後進運動の減速時に  
エネルギー回生

燃費改善は約40～50%

約12トン-CO2/台・年

1台の導入でハイブリッド乗用車約20台分の効果！

## 燃料電池自動車等を導入する事業 (導入費用の1/2を補助) 継続分のみ



燃料電池自動車



水素自動車

走行時におけるCO2排出量はゼロ！

率先的な取組を行う者を対象に初期導入を促進し、本格的普及につなげる効果